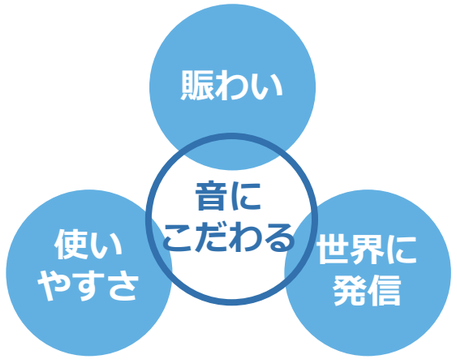
別添１

■コンセプト



■ミッション

耐震補強による
安全性の確保

老朽化した
施設の刷新

コンセプトに基づき、
ミッション達成を目的に
整備することで、
文化ゾーンエリアを活性化

■文化会館整備の背景

- ムジークフェストなら等の地域ぐるみの音楽活動を盛んにする
- ジュニアオーケストラ等の活動拠点をつくる
- 県民が世界トップレベルのすぐれた演奏に接する機会をつくる
- 地元の音楽関連活動をしている人たちが発表できる場をつくる
- 周辺に音量を気にせず練習できる場所をつくる
- 県内のコンサート会場として評価されている国際ホールの魅力を向上させる

音楽系を軸とした多彩な舞台芸術の殿堂として整備

■計画概要

- 全館を耐震補強し、安全に利用できる施設として整備
- 文化会館北東部に新たに音楽小ホールを設置
- 音楽練習室や練習用スタジオを整備
- 前庭や美術館に面した場所にカフェを設置し、賑わいを演出
- 会議室、展示室に替え、楽屋などのバックヤードの充実を図る

■ 工 期

全体を一度に改修し、令和8年度再オープンを目指す（工期：34カ月）

■機能構成

楽屋・搬入口・バックヤード

・音楽ホールにふさわしい個室楽屋、大中楽屋を整備
・内装設備のリニューアル
・搬出入のしやすいバック動線の整備

国際ホール（1300席）

大規模コンサート・演劇、国際会議や講演会等のための座席更新、バリアフリー改修、特定天井改修

音楽練習室

県内団体の練習場、ジュニアオーケストラ活動、小規模公演も可能な音楽練習室を新たに整備

音楽小ホール（350-400席）

稼働率を高められる席数・規模を確保した音にこだわるホールを新たに整備

エントランス・アトリウム

中庭の屋内化により文化会館動線の中心となるアトリウムを整備

多目的室

・県民への貸し出し
・多目的な利用可能

練習スタジオ

・音響配慮
・県民活動の場

カフェテリア

賑わいの演出、前庭や美術館と連携するカフェテリアを整備

別添１

■ 国際ホールのリニューアル

- 座席を更新する（座席数、レイアウト等について検討）
- 舞台機構や舞台照明・音響・映像設備についても更新する
- 車いす席の拡充

■ 明快な動線計画によるバリアフリー化

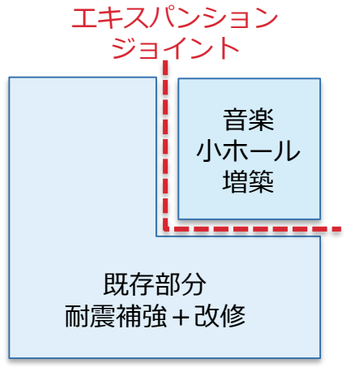
- 国際ホールの客席前方に至るバリアフリー動線確保のためエレベーターの設置
- 駐車場からエントランスに至るバリアフリー動線確保のためのエレベーター設置
- 視覚・聴覚障害者に配慮したサインや音声誘導等の検討
- 中庭を屋内化して、各施設への動線の中心に位置づけ、分かりやすい計画とする

■ 最新性能を満たす設備更新

- 全ての防災設備を現行法適合し、長寿命化を意図した設備更新を行う
- 【電気】受変電設備のキュービクル化、照明のLED化、防災設備の更新
- 【機械】空調熱源の改修、経年劣化設備の更新、
  個別空調可能なパッケージエアコン
- 【衛生】トイレの改修、受水槽の改修
- 【昇降機】現行法適合させるため、老朽化した既存エレベーターは撤去更新する

■ 現行基準を満たす耐震補強計画

- 音楽小ホールは既存躯体を撤去解体の上、増築する
- 既存部分と増築部分はエキスパンションジョイントで接続することで、既存部分は構造の現行法遡及を受けない
- 既存部分は耐震改修促進法に基づく耐震補強を行い、Is値0.75以上（最低基準であるIs値0.6の1.25倍）を確保する
- 特定天井についても現行法に適合する改修を行う

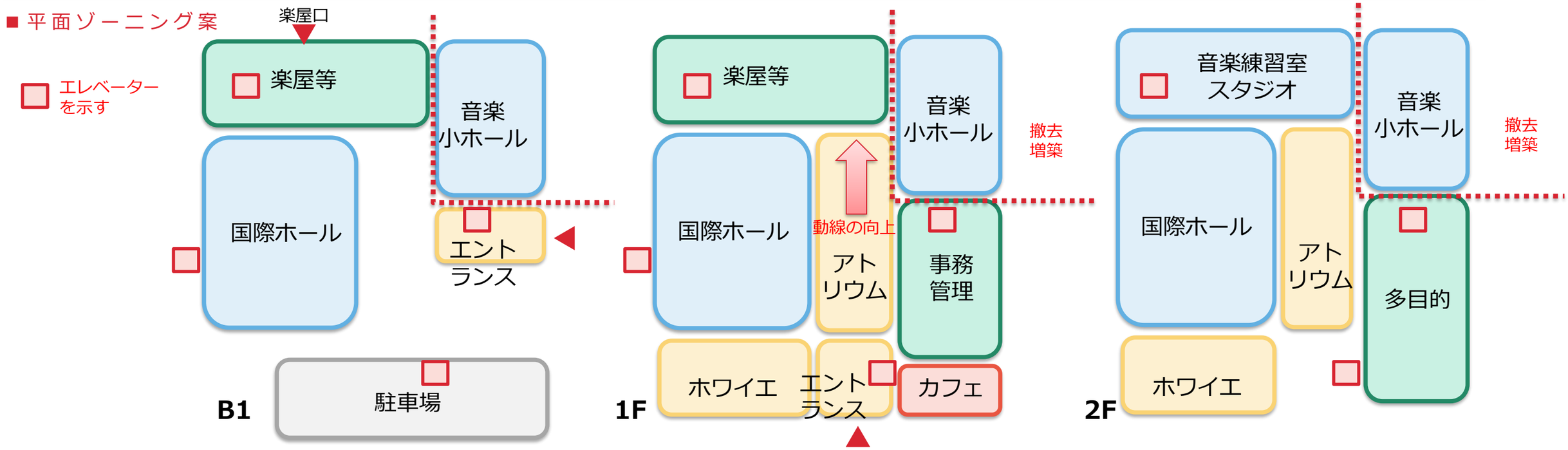


■ アンケート・ヒアリングの実施

【アンケートの結果】

- 付属用途として、外から賑わいの感じられるカフェテリア、練習スタジオの設置などの要望を受け、計画に反映
- トイレや内装などの更新要望を反映

【ヒアリングの結果】

- 稼働率の高い小ホールが300-400席規模であることが分かったため、小ホール規模決定の根拠とする
- 楽屋や搬入ルートなどのバックヤードの充実に反映

■ 平面ゾーニング案